



「父の原爆回想記 1」

輪番 楠 活也

1945年8月6日ヒロシマ、8月9日ナガサキに原子爆弾が投下されました。広島では約14万人、長崎では約7万人の方々の命が一瞬にして奪われました。私の父、達也は、6歳の時に長崎で被爆しました。今回は、今から5年ほど前に父へのインタビューをもとに書かれた新聞記事を紹介し、皆さんと共に、戦争と平和について考えたいと思います。

＜宗教の壁を越え平和を祈る＞

長崎原爆の日の前夜。仏教、神道、イスラム教など、国内外の宗教団体の代表者が毎年、爆心地公園に集まり、県宗教者懇話会が主催する慰霊祭に参列する。2012年から実行員を務めるのは、長崎市仏教連合会会長で光源寺の前住職、楠達也さん（当時75）だ。光源寺は爆心地の南東3.5km。爆風で大きな被害を受け、多くの人々が避難してきた。

戦争と宗教の関りを尋ねると、「人類は始まって以来、戦争の原因は宗教に他ならない。先の戦争でも、日本は神道を戦争に利用し、他の宗教も戦争に協力した」。長崎は狭い範囲に宗教が入り乱れる町。クリスマスには僧侶がミサに参加し、釈迦の生誕を祝う花祭りには神父や宮司が祝福に訪れる。人類愛を語りながら、殺し合う。そんな宗教の歴史を乗り越えるため結成された県宗教者懇話会で、平和活動を続けている。「宗教や宗派の壁を越えて、世界平和を祈る。これが本来の宗教の姿だ。」

＜「特攻隊ごっこ」を楽しむ＞

15ほどの神社仏閣が集まる長崎市寺町かいわい。浄土真宗本願寺派光源寺は、母親の幽霊が飴を買って赤ん坊に与えたという民話「産女の幽霊」で知られる。楠達也さんは、この寺の住職、越中間信さんの三男として生まれた。物心つくころから早起きしてお経を唱え、5歳の頃には暗唱していた。長兄は郷



7月の予定

- 1日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 4日 別院・事務所休み
- 9-12日 16-17日 盆踊り練習
7時半-9時
- 14日 墓地法要
- 15日 10時 お盆・初盆法要
10時45分 日本語なし
- 19、20日 6時 お盆ブース準備
- 21、22日 盆踊り
- 27-29日 N.W.Y.B.L. リトリート
- 29日 10時 家族法要
10時45分 日本語DVD
- 5日 1時半 日系マナー法要
- 19日 1時半 日系マナー法要
- 24日 10時半 敬老ホーム法要
- 26日 11時メリルガーデン法要

土史家の越中哲也さん（当時91）。楠さんにとって「学校の先生よりも偉い」存在で、今でも「越中先生」と呼ぶ。寺には家族だけでなく、僧侶や女中、下宿者、物乞いのおじさんまで暮らして、賑やかだった。

当時の遊びは戦争一色。両手を広げて人に頭突きをする「特攻隊ごっこ」。瓦を合って投げ合う「石合戦」。戦争や兵士は憧れだった。それが変わるのは、1944年ごろ。食糧が不足し、寺で暮らす人は徐々に減った。釣り鐘や仏具などの金属は軍のために供出した。聞信さんは空襲警報が聞こえると、ご本尊を避難させた。ミイラのように布で巻かれた仏の姿は、どこか異様で怖かった。<兵士の金平糖 親心の味>

1944年の夏、食料不足が深刻化してきたころ、大勢の出征兵が光源寺にやってきた。長崎港から戦地に向かう輸送船に乗るため。1週間ほど宿営した。外に立たされて上官に革靴でたたかれたり、落とした飯盒を拾うため井戸に縄でつるされたりした兵士の姿を、楠達也さんは今でも鮮明に覚えている。

「坊や、手を出してごらん」。ある日、兵士に声をかけられた。見ると、手のひらには紅白の金平糖がいっぱい。天にも昇る気持ちで、一粒ずつ大事に食べた。「ダイヤモンドよりもありがたかった。」

数日後、境内に整列する兵士たちを日の丸を振って見送った。その後の生死はわからないが、多くが戦死したのではないかと思う。兵士たちの無念さを思い、手を合わせる。

「あの金平糖は、兵士がふるさとに残した我が子に贈るつもりでくれた、最後のプレゼントだったのだ」。数十年後、親になった楠さんはそう気づいて、金平糖を買いに走った。一粒口入れると、涙が流れた。（つづく） 合掌

7月スケジュール

1日 IMOP 先生方 ご法話 英語—Rev. Mikame, 日本語—Rev. Imada

9-12日 16-17日 盆踊り練習 7時半—9時

14日 セメタリー法要 マウント・プレザント、ワシントン・メモリアル、レークビュー

15日 お盆・初盆法要 10時、別院 日本語法要なし 11時 納骨堂法要

セメタリー法要 ワシヤリ、サンセットヒルズ

21-22日 盆踊り

27-29日 NWYBL リツリート

会員部より

別院メンバーシップ・コミティーは維持会会員の会員増加運動を計画しています。維持会メンバーは会費によりお寺の維持費、運営費のサポートをしています。ミニマムの会費の提案は300ドル、70歳以上は250ドルです。

お盆でお手伝いされるかたがた、フード・ハンドラーのクラスをオンラインで取ってください。30分くらいです。簡単なテストがあります。\$10です。<https://www.foodworkercard.wa.gov/language.html>
パーミットを取れました事務所のジョーンまでお知らせください。

86th Annual SEATTLE
BON ODORI
SATURDAY, JULY 21 4pm - 10pm
SUNDAY, JULY 22 3pm - 8pm
SEATTLE BUDDHIST CHURCH
1427 South Main Street
Seattle, WA 98144
www.SeattleBetsuin.com
206.329.0800

Japanese & Contemporary Folk Dancing, Great Food, Cultural & Craft Exhibits,
Martial Arts Demonstrations, Talko Performances & Interactive Sessions,
Introduction to Buddhism Talks, Beer Garden featuring Two Story Zori

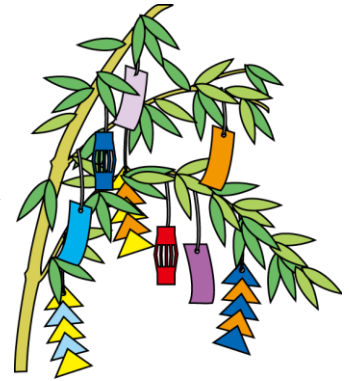
@SeattleBonOdori #SeattleObon2018

seafair

婦人会便り

SBBWA news by Nina Tomita-Kato and Machiko Wada

サンガ・デイ：メンバーの方々にフードサンプルを提供していただきました。またレシピも配布されサンガに大変喜ばれました。感謝します。フード提供：新宅フラン、寺田鈴子、リアン西ウオング、ティーナ頭本コー、楠彩乃、サービング：ティー・パム、タイラー森口、ドンナ頭本、リアン西ウオング。



盆踊り：7月21・22日 ボランティアのサインアップをお願いします。焼きそばブースのキャッシャーとパッケージ及びクラフトブースのヘルパー。またクラフトブースでは浴衣、着物、帯、またはその他の着付け用品などの寄付をお願いしています。



西北部婦人会の集まり：6月15日にシアトルと白河仏教会婦人会より18名の会員がスノーコアミー・カジノに集合しバツフェ・ランチとプレーを楽しみました。6月1日より白河仏教会任務のジム・ワーリック先生とローナも参加され全員楽しい1日でした。

オライオン・ユースセンター・ディナー：6月15日にディナーをサーブしました。いつもご奉仕されるメンバーに感謝します。参加ご希望の方はお知らせください。2-3ヶ月に一度くらいです。

全米仏教婦人大会：加州バイセリアにて9月14-16日。締め切り7月20日。参加希望者にご連絡ください。申し込み締め切りは7月20日。

Donation: gratefully acknowledged your generosity.

General donations: Mary Katayama, Leanne Nishi-Wong, Michiko Toyoshima, Machiko Wada

In memory of Daisy Kuramoto: Wayne Kuramoto

In appreciation of SBBWA, Leanne Nishi-Wong: June Akizuki

Dana Day: Toshiko Isomura and Yaeko Ito

In memory of Fumiko Uyeda Groves: Taka Kogita, Patrick and Lisa Kunihiro, Patti Mastrude, Alvin and Mitsuko Terada, Calvin and Yvette Terada, Dolly Tokunaga, Eric and Diane Tomita, Nina Tomita-Kato, and Art and Bev Uyeda



7月のキャビネット会議と理事会会議はキャンセルです。8月に理事会会議があります。

picture from Snoqualmie Casino

picture: Karen Murakami

第6回 ウィーメンズ・セミナー

恒例の婦人セミナーが今年も開かれます。

テーマ : Tools for Spiritual Wellness

9月22日 9時半 - 3時半

Carmela Javellana - Hirano M.D. アシスタント・ミニスター、ソルトレーク仏教会
講演のテーマ “The Wounded Heart”

Elizabeth Myoen Sikes Ph.D. 博士、シアトル大学エコーサンガ共同所長、曹洞宗信者
講演のテーマ “Tara’s Response: Deep Listening and Right Speech in our Relationships.”

今年は残念ですが、日本語のセッションはありません。

ご講師の先生方ともに精神面と癒し、カウンセリングなどの専門です。学ぶことの多い一日となるでしょう。

そのほかに、インドの仏教徒に始まるタラ・ダンスのレッスン、内観療法、太鼓などを準備

皆様、ご家族、ご友人お誘いあわせご出席おねがいします。

8月の予定

5日 広島・長崎 原爆死没者追悼法要

7-9日 BCA 開教使サマー・セミナー ポートランド

26日 タコマ仏教会 宮地先生のご法話

スペシャル・レクチャー 田中ケン師 1-4時